

ガバメントクラウド以外の環境へ移行することに関する公表資料

令和8年 2月24日

次の本市の標準準拠システムが、本市専用のクラウド環境(以下「本市プライベートクラウド」という。)へ移行するため、「デジタル基盤改革支援補助金(地方公共団体情報システムの標準化・共通化に係る事業)事務処理要領」(地方公共団体情報システム機構)に基づき、下記の通り、国が整備した全国的なクラウド環境(以下「ガバメントクラウド」という。)を利用した場合との性能面、経済合理性等の比較結果を公表する。

檀原市長 亀田 忠彦

記

1 標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務
戸籍総合システム	戸籍, 戸籍附票

2 性能面等の比較結果

【性能面等比較表】

比較項目	ガバメントクラウド (AWS 使用)	本市プライベートクラウド
非機能要件への適合	○	○
DC の物理的所在地	日本	日本
情報資産の国外持出制限の有無	有	有
ガバメントクラウドとのデータ連携の可否	—	○
裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの	○	○

3 経済合理性の比較結果

【比較する経費の詳細】

- ・経費 A・・・標準準拠システムをガバメントクラウド(AWS 使用)へ移行した場合の経費(試算)
- ・経費 B・・・標準準拠システムを本市プライベートクラウドへ移行した場合の経費(契約額)

【経済合理性比較表】

(単位：円 (税抜))

経費区分		経費 A	経費 B	
移行時の経費 (イニシャルコスト)	作業費	カスタマイズ費	0	0
		環境構築費	15,110,000	13,110,000
		データ移行費	9,060,000	5,060,000
		他システム連携機能構築 作業費	960,000	960,000
		操作マニュアル作成・職員 研修費	480,000	480,000
		プロジェクト管理費	0	0
		イニシャルコスト合計	25,610,000	19,610,000
移行後の経費 (ランニングコスト : 60 ヶ月分)	作業費	システム運用作業	34,980,000	31,500,000
		ハードウェア保守作業	0	
		その他外部委託費	0	
	作業費 計		34,980,000	31,500,000
	物品費	ハードウェア賃料	0	
		ハードウェア保守費	4,200,000	4,200,000
		ソフトウェア賃料	0	
		ソフトウェア保守費	0	
		データセンター利用費	0	
		通信回線費	1,200,000	1,200,000
		クラウド利用経費	19,200,000	15,960,000
	物品費 計		24,600,000	21,360,000
	ランニングコスト 計		59,580,000	52,860,000
合計		85,190,000	72,470,000	